第17回真鶴町地域公共交通会議　次第

日　時　　平成30年11月5日（月）
　　9:30～
会　場　　真鶴町国保診療所会議室

1　開　会

2　議　題

（1）デマンド交通実証実験について…資料1

3　その他

4　閉　会

真鶴町地域公共交通会議委員名簿

区分	団体・職名等	氏名
第1号 町民又は公共交通利用者の代表	真鶴町自治会連合会長	三木　邦身
第2号 学識経験者	東洋大学国際学部教授	岡村　敏之
第3号 国土交通省関東運輸局	神奈川運輸支局首席運輸企画専門官	藤田　幸也
第4号 県の関係行政機関	神奈川県都市部交通企画課長	星名　隆 （代理　福島　新平）
	神奈川県県西土木事務所小田原土木センター工務担当部長	野口　享洋
	神奈川県小田原警察署交通第一課長	高橋　一成
第5号 交通事業者	一般社団法人神奈川県バス協会常務理事	小堤　健司
	一般社団法人神奈川県タクシー協会	溝口　啓二郎
	有限会社真鶴タクシー営業所長	
	東日本旅客鉄道株式会社真鶴駅長	猪狩　吉央
	箱根登山バス株式会社運輸部課長	今野　武史
	伊豆箱根バス株式会社営業部次長	津田　豪
	株式会社湯河原タクシー取締役	古川　清一
第6号 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会委員	小泉　孝行
第7号 町長の指名する職員	真鶴町企画調整課長	小清水　一仁
	真鶴町産業観光課長	五十嵐　徹也
	真鶴町健康福祉課長	上甲　新太郎
	真鶴町教育課長	岩本　幹彦
第8号 前各号に掲げる者のほか町長が特に必要と認める者	真鶴町老人クラブ連合会長	中村　多美枝
	真鶴町社会福祉協議会長	青木　巖
	真鶴町観光協会長	青木　博和 （代理　有澤　敏勝）
	真鶴町商工会長	薮田　徹也
	まなづる小学校バス通学児童保護者の会会長	吉田　希
事務局	真鶴町まちづくり課長	菅野　文人
	真鶴町まちづくり課計画管理担当課長	神谷　要
	真鶴町まちづくり課副課長兼計画管理係長	尾森　正
	真鶴町まちづくり課主任主事	多田　英高

資料１

デマンド交通実証実験について（案）

1　新たな公共交通システムの形態

・デマンド型乗合タクシー（区域運行型）

2　実証実験運行の期間

・平成３１年２月１日から平成３１年３月３１日までの２か月間とします。
※ただし、平成３１年４月以降の継続運行を見据え、各種調整・手続きを進めます。

3　運行エリア

・バス空白地域を中心とした２つの「デマンドサービスゾーン」と、「まちなかエリア」（真鶴駅、町役場、診療所、小田原百貨店、情報センター）をつなぐ直行便とします。

4　運行日

・実証実験運行の期間中は、土曜日・日曜日・祝日を含む毎日運行します。

5　利用方法及び運行時間

（１）予約受付
・当日朝６時から運行時間の１時間前までの予約制とします。
・利用者は、名前、利用時間、人数（小学生以下含む）、乗降ポイント、大きな荷物（手押し車[シルバーカー]・ベビーカーなど）の有無を連絡します。帰りの時間がわかる場合は同時に予約を可能とします。
・車椅子の方は、介助者が同乗される場合又は自身で乗降できる場合に利用可能とします。ただし、予約受付は車椅子の車両への収納状況によります。
・１日複数回の利用を可能とします。
・利用者は、予約の取消しや変更が生じる場合は、予約の運行時間前に連絡することとします。

（２）連絡先
・運行事業者に、実証実験予約専用の電話番号を設置することとします。

（３）運行便数及び運行時間

便数 ＼ 発場所	運行時間							
	１便	２便	３便	４便	５便	６便	７便	８便
デマンドサービスゾーン　発	９：００	１０：００			１３：００	１４：００		
まちなかエリア　発			１０：３０	１１：３０			１４：３０	１５：３０

※１便あたり最大２台、１エリアあたり最大２台運行（１台の最大乗車定員４名）とします。
※小学生以下のみの予約は不可とします。
※予約があった場合のみの運行とします。

（４）その他
・利用登録は不要とし、予約した場合のみ、乗降ポイントで乗降を可能とします。
・デマンドサービスゾーン間の移動は不可とします。

6　乗降ポイント

（１）２つの「デマンドサービスゾーン」
・旧コミュニティバスで廃止になった停留所や、その周辺地域におけるバス空白地帯を中心に、乗降ポイントを設定します。
・また、ゾーンについては、地形や既存公共交通機関のルート等を勘案し、「港ゾーン」と「山ゾーン」の２つとします。

（２）「まちなかエリア」
・真鶴駅、町役場、診療所、小田原百貨店、情報センターを乗降ポイントに設定します。

7　乗車運賃

運賃区分	運　賃
基本運賃	400円

※上記運賃は、１乗車あたりの１名の乗車運賃です。
※「真鶴町運転免許証自主返納支援事業」の割引チケットが利用できます。
※運賃は、降車時にドライバーに現金で支払うものとします（クレジット・電子マネーは不可）。
※12歳未満（小学生以下）は無料とします。

8　運行事業者

・真鶴タクシー有限会社 及び 湯河原タクシー株式会社

9　運行に関する評価方法

（１）意見聴取
・降車時に、利用者へアンケートはがきを配布し、ご意見やご要望等を聴取します。
・運行事業者の運行月報により、状況を把握します。

（２）運行実績の把握
・利用状況や利用実績(延利用者数、日及び便当り利用者数、実利用者数、年代別利用者数等)を集計・分析し、評価を行います。

デマンドサービスゾーン
港ゾーンと山ゾーンの２ゾーンと街中（真鶴駅・役場・診療所・小田原百貨店・情報センター）を結ぶ。
※デマンドサービスゾーン内の乗降ポイントは、旧・コミュニティバスで廃止された停留所と同一箇所。
既設バス停
乗降ポイント
役場
小田原百貨店
診療所
真鶴駅
情報センター
（仮）城址公園
（旧）力石歯科医院前
草履商店前
上釈迦堂
（旧）平珍前
山ゾーン
ちびっこ広場前
港ゾーン
済度線入口
路線バスケープ真鶴線
アルハンブラ前
宮ノ前集会所
貴船神社前
コミュニティバス真鶴線
N
0 50 100 300 500 1,000 m

参考資料

＜コミュニティバス・路線バス利用者実態調査＞の概要

１調査概要

①調査日時

・平成３０年９月５日（水曜日）～９月１１日（火曜日）まで１週間（平日５日・土日２日）

②調査方法

・調査員がバスに乗り、乗車客に調査票を渡し、回答依頼。（乗車便・乗車バス停は予め記入）

・降車バス停を回答いただき、初回のみアンケートへの回答を依頼。（調査票：次頁参照）７

③集票結果

・「定時運行に支障あり」などの注意を受け、全数調査が困難であった。

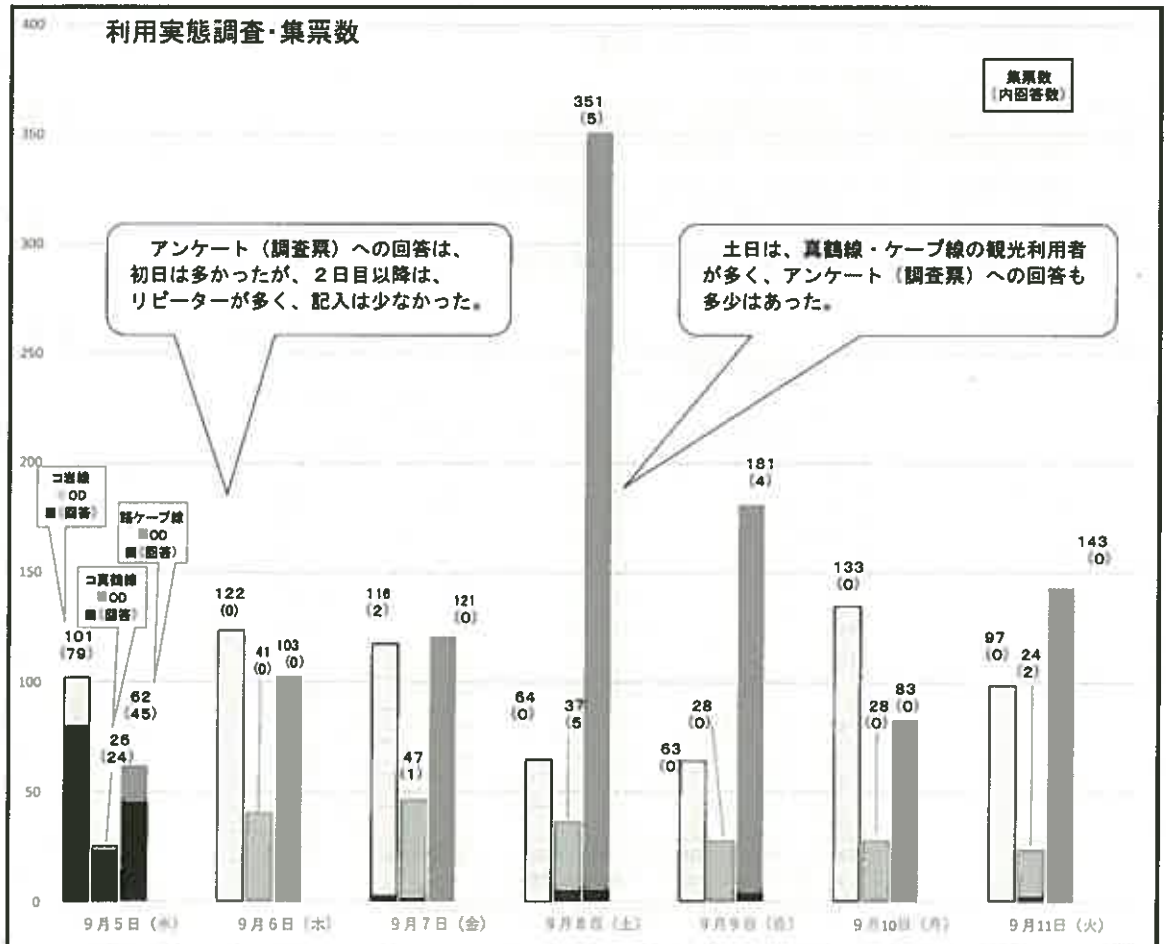
・土日は、OD※把握を優先し、調査員がODを全数調査し、アンケートは手渡し、後日回収で依頼。

・延べ乗車人数は平均で、コミュニティバスは、岩線が平日１１４人程・土日６４人程、真鶴線が平日・土日とも３３人程。

・路線バス・ケープ真鶴線の平日の平均は、１０２人程度である。９月８日（土曜日）、ケープ真鶴方面への団体客の乗車により、延べ３５１人の利用があった。（特異日であった。運転手談）

・調査票への回答は、初回のみとしているため、初日の岩線７９票が最も多く、次いで初日のケープ真鶴線４５票、真鶴線２４票となっている。（岩線は、土日の票が０）

・観光利用者などから土日に、ケープ真鶴線が９票、真鶴線が５票回収している。



※OD：起点（Origin）と終点（Destination）、一人一人の乗車バス停と降車バス停を把握する調査。（調査員がカウント）
（回答）：アンケート（調査票）への記入回答。ODも記入回答いただいた。

集計結果・もくじ

＜調査票・コミュニティバス岩線＞ …… 3

（１）コミュニティバス岩線

①ＯＤ結果 …… 4

【平日ＯＤ】（総数：５６９・不詳１０含む）

【土日ＯＤ】（総数：１２７）

②アンケート集計結果（利用者意向：平日８１人） …… 6

【利用者属性】【利用目的・満足度・改善策等】

【問５改善に関する記載】

《運行ルート》《ダイヤ・運行時間帯》《待合環境》《その他》《自由記入欄》

（２）コミュニティバス真鶴線

①ＯＤ結果 …… １０

【平日ＯＤ】（総数：１６６・不詳４含む）

【土日ＯＤ】（総数：６５）

②アンケート集計結果（利用者意向：平日２７人） …… １２

【利用者属性】【利用目的・満足度・改善策等】

【問５改善に関する記載】

《運行ルート》《ダイヤ・運行時間帯》《待合環境》《その他》《自由記入欄》

③アンケート集計結果（利用者意向：土日５人） …… １６

【利用者属性】【利用目的・満足度・改善策等】

（３）路線バスケープ真鶴線

①ＯＤ結果 …… １８

【平日ＯＤ】（総数：512・不詳２２含む）

【土日ＯＤ】（総数：５３２）

②アンケート集計結果（利用者意向：平日４５人） …… ２０

【利用者属性】【利用目的・満足度・改善策等】

【問５改善に関する記載】《その他》《自由記入欄》

③アンケート集計結果（利用者意向：土日９人） …… ２３

【利用者属性】【利用目的・満足度・改善策等】

＜実態調査結果・総括＞ …… ２５

バス利用実態調査・集票数

日付	コミュニティバス岩線			コミュニティバス真鶴線			路線バスケープ真鶴線		
	ODのみ	回答	計	ODのみ	回答	計	ODのみ	回答	計
9月5日（水）	22	79	101	2	24	26	17	45	62
9月6日（木）	122	0	122	41	0	41	103	0	103
9月7日（金）	114	2	116	46	1	47	121	0	121
9月8日（土）	64	0	64	32	5	37	346	5	351
9月9日（日）	63	0	63	28	0	28	177	4	181
9月10日（月）	133	0	133	28	0	28	83	0	83
9月11日（火）	97	0	97	22	2	24	143	0	143
合計	615	81	696	199	32	231	990	54	1,044
平日合計	488	81	569	139	27	166	467	45	512
平日平均	97.6	16.2	113.8	27.8	5.4	33.2	93.4	9.0	102.4
土日合計	127	0	127	60	5	65	523	9	532
土日平均	63.5	0.0	63.5	30.0	2.5	32.5	261.5	4.5	266.0

※調査票への回答は、初回のみとしているため、合計集票より、回答数は少ない。
また、第2日目以降は、リピーターが多く、ほとんど回答が無い。

※集計分析は、平日分と土日分の合計で行った。（岩線の土日の調査票回答は0。）

＜調査票・コミュニティバス岩線＞

・実寸はA3判サイズ

・クリップボードに留め、手渡し、降車時回収（3日目からは後日回収）とした。

ここから回答お願いします。

A・便	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13	14	17	20	21	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	6:30	6:40	6:55	7:05	7:20	7:30	7:45	7:55	8:25	8:35	8:40	10:40	12:50	14:10	14:50	16:10	17:05	17:15	17:35	17:45	18:00	18:10	18:40	18:50	19:05	19:15
乗車バス停																										
	1 真鶴駅	2 体育館駐車場入口	3 石田保育園前	4 西ノ入	5 橋ノ上	6 細山入口	7 大猿山配水池前	8 石名坂	9 町営住宅	10 岩	11 岩ふれあい館前	12 岩地区集会所前	13 岩海岸	14 朝倉医院前	15 役場	16 真鶴郵便局前	17 町民センター	18 小田原百貨店	19 消防分署前	20 情報センター						
降車バス停はどこですか？（1つに○）																										
	1 真鶴駅	2 体育館駐車場入口	3 石田保育園前	4 西ノ入	5 橋ノ上	6 細山入口	7 大猿山配水池前	8 石名坂	9 町営住宅	10 岩	11 岩ふれあい館前	12 岩地区集会所前	13 岩海岸	14 朝倉医院前	15 役場	16 真鶴郵便局前	17 町民センター	18 小田原百貨店	19 消防分署前	20 情報センター						
【 岩線・平日 】																										

はじめての方のみご回答ください。

真鶴町コミュニティバス利用者アンケート調査票

真鶴町コミュニティバスをご利用いただきありがとうございます。コミュニティバスの利用実態や利用意向を把握するため、アンケート調査を実施しています。

真鶴町まちづくり課 計画管理係（電話 0465-68-1131）

問1. あなたご自身についてお聞きします。（それぞれ1つに○印）

性別	① 男性　② 女性	年齢	① 10歳代　② 20歳代　③ 30歳代　④ 40歳代 ⑤ 50歳代　⑥ 60歳代　⑦ 70歳代　⑧ 80歳以上
職業	① 会社員・公務員　② 自営業　③ 学生　④ 専業主婦（夫） ⑤ パート・アルバイト　⑥ 無職　⑦ その他（　　）		
住まい	1 町内（①東地区　②西地区　③丸山地区　④城口地区 ⑤城北地区　⑥みさき地区　⑦土肥道地区　⑧岩中央地区 ⑨山ゆり地区）	バス停までの所要時間	徒歩で（　　）分程度
	2 町外（市町村名：　　）		

問2. 本日の真鶴町コミュニティバスの主な利用目的は何ですか？（2つまでに○印）

① 通勤　② 通学　③ 買物　④ 通院　⑤ 公共施設利用　⑥ 習い事
⑦ 遊び・趣味等　⑧ 金融機関利用　⑨ 観光　⑩ その他（　　）

問3. 利用頻度はどのくらいですか？（1つに○）

① ほぼ毎日　② 週に2・3回　③ 月に3・4回　④ 月に1回程度　⑤ その他（　　）

問4. 真鶴町コミュニティバスの運行サービスについて、あなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～⑥すべてにお答え下さい。

運行サービス	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
① 運行ルート（行き先等）	1	2	3	4	5
② 運行便数	1	2	3	4	5
③ 運行時間帯	1	2	3	4	5
④ 運賃（200円）	1	2	3	4	5
⑤ 時刻表・路線図等の運行情報案内	1	2	3	4	5
⑥ 全般のサービス	1	2	3	4	5

問5. 真鶴町コミュニティバスの利用をより一層高めるためには、どのようなサービスを改善することが必要と思いますか？（3つまでに○印）

① 運行ルートの変更・見直し …… 希望する経由地（　　）
② ダイヤ・運行時間帯の変更 …… 希望するダイヤ（　　）
③ バス停留所の増加（新設） …… 具体的な場所（　　）
④ 鉄道やバス、バス同士との乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入
⑤ バス停留所の待合環境（ベンチ、上屋）の整備
⑥ 運行情報案内等の広報活動
⑦ 観光施設や商店会等と連携した公共交通割引チケット等の発行
⑧ 公共交通の意識向上を育むよう、地域懇談会やシンポジウム等の開催
⑨ 幼稚園・保育園や小中学生等を対象としたバスの乗り方教室等の開催
⑩ その他（　　）

真鶴町コミュニティバスに関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

……

ご協力ありがとうございました。ご回答頂いた調査票は降車時に調査員に手渡すか、バス車内の回収箱に入れて下さい（9月14日（金）まで）

岩線ＯＤ結果（平日）

２集計結果

（１）コミュニティバス岩線

①ＯＤ結果

【平日ＯＤ】（総数：５６９・不詳１０含む）

- 最も多かったのは「岩乗車→真鶴駅降車」で５５（①）、次いで「真鶴駅乗車→岩降車」で４５（②）。
- 午前中の通勤利用で「岩方面から真鶴駅まで」の利用が多い。
- 乗車バス停では、「真鶴駅」１８４（③）、「岩」９９（④）と起終点バス停からの利用が多く、「小田原百貨店」４６（⑤）、「岩地区集会所前」４３（⑥）などとなっている。
- 降車バス停では、「真鶴駅」２５０（⑦）、「岩」６３（⑧）の利用が多く、「消防分署前・町営住宅」３２（⑨）、「朝倉病院前」２８（⑩）などとなっている。

コミュニティバス岩線OD・平日　合計

乗車人数	569	乗車																			
バス停		1真鶴駅	2体育館駐車場入口	3石橋保育園前	4西ノ入	5桃ノ上	6鍋山入口	7大浜山配水池前	8石名坂	9町営住宅	10岩	11宮ふれあい館前	12岩地区集会所前	13宮海岸	14朝倉風致前	15役場	16真鶴郵便局前	17町民センター	18小田原百貨店	19消防分署前	20保健センター
		184	1	3	3	24	2	1	3	19	99	39	43	32	35	9	1	9	46	12	4
降車 1真鶴駅	250	2		3	2	17	1	1	3	11	55	33	36	29	31	8		2	12	3	1
2体育館駐車場入口	10	1										1					1	3	4		
3石橋保育園前	7	5																	2		
4西ノ入	2	1																	1		
5桃ノ上	16	10				1									1				2		2
6鍋山入口	2	2																			
7大浜山配水池前	1	1																			
8石名坂	2	0																2			
9町営住宅	32	16																	12	3	1
10岩	63	45									1					1		1	9	6	
11宮ふれあい館前	21	19										2									
12岩地区集会所前	24	22											1						1		
13宮海岸	27	24												2				1			
14朝倉風致前	28	24								1			1		1				1		
15役場	7	5									1		1								
16真鶴郵便局前																					
17町民センター	15	2				1				1	8	2	1								
18小田原百貨店	26	3	1		1	2	1			5	8	1	2		2						
19消防分署前	32	2				1				1	26		1	1							
20保健センター	4					2													2		

に数値があるものは、OD不詳（10）。

- 午前中は、真鶴駅までの通勤利用が多い。
- 「岩」往復便の利用により、岩までのバス停利用が多く、「小田原百貨店」への買い物バスとしての利用が多い。（アンケート結果 P7 も参照）
- 真鶴駅降車２５０に対し、真鶴駅乗車１８４は、往路駅までの利用者が、帰路利用時間帯に便が無いと指摘すること（アンケート結果 P0参照）と呼応する。

【土日ＯＤ】（総数：１２７）

- 最も多かったのは「岩乗車→真鶴駅降車」で１１（①）、次いで「町営住宅乗車→真鶴駅降車」で１０（②）。
- 乗車バス停では、「真鶴駅」３６（③）、「町営住宅」１７（④）の利用が多く、「小田原百貨店」１６（⑤）、「岩」１５（⑥）などとなっている。
- 降車バス停では、「真鶴駅」５７（⑦）、「小田原百貨店」１７（⑧）の利用が多く、「町営住宅」１２（⑨）、「岩」１０（⑩）などとなっている。

コミュニティバス岩線OD・土日　合計

乗車人数	127																		
		乗車																	
	バス停	1真鶴駅	2体育館駐車場入口	3石田体育館前	4西ノ入	5横ノ上	6細山入口	7大張山配水池前	8石名坂	9町営住宅	10岩	11岩ふれあい館前	12岩地区集会所前	13岩海岸	14朝倉医院前	17町民センター	18小田原百貨店	19消防分署前	20情報センター
		36		1		4	4	1		17	15	5	8	9	8	1	16	1	1
降車	1真鶴駅	57		1		4	2	1		10	11	3	5	7	7	1	5		
	2体育館駐車場入口	1															1		
	3石田体育館前	2	2																
	4西ノ入	3	3																
	5横ノ上	4	4																
	6細山入口	2	1														1		
	7大張山配水池前	2	1														1		
	8石名坂																		
	9町営住宅	12	4														7	1	
	10岩	10	7												1		1		1
	11岩ふれあい館前	1	1																
	12岩地区集会所前	3	3																
	13岩海岸	5	5																
	14朝倉医院前	2	2																
	17町民センター	1					1												
	18小田原百貨店	17	2				1			6	4	1	3						
	19消防分署前	3								1				2					
	20情報センター	2	1									1							

岩線アンケート結果（平日８１人）

②アンケート集計結果（利用者意向：平日８１人）

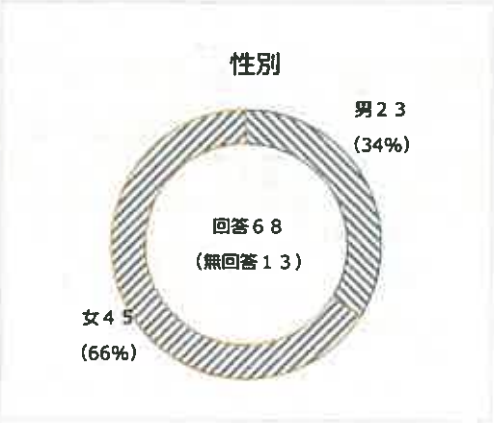
【利用者属性】

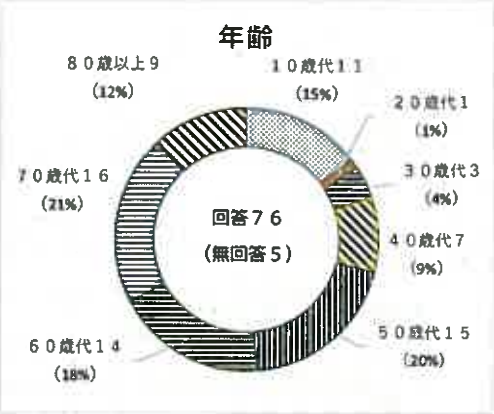
・性別では、男２３（約３４％）、女４５（約６６％）で、女性が多かった。

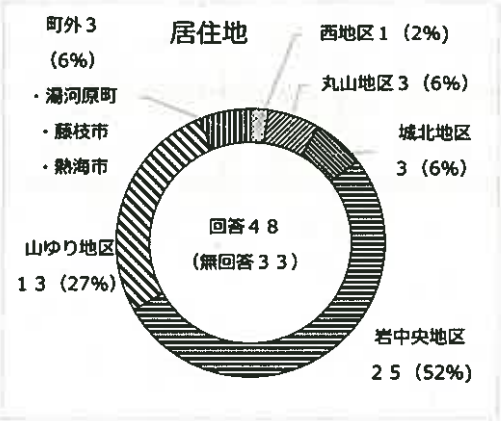
・年齢別では、７０歳代（約２１％）、５０歳代（約２０％）、６０歳代（約１８％）と、高齢者が多かった。

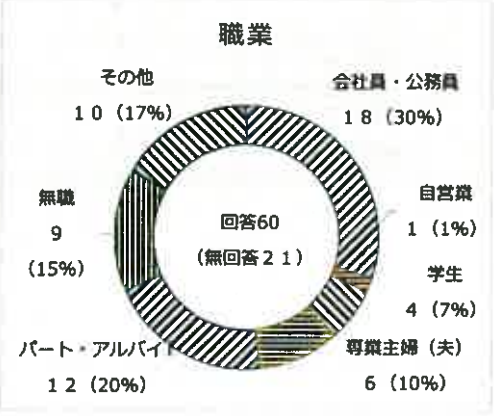
・職業別では、会社員・公務員１８（約３０％）、パート・アルバイト１２（約２０％）が多かった。

・居住地は、岩中央地区２５（約５２％）、山ゆり地区１３（約２７％）が多かった。





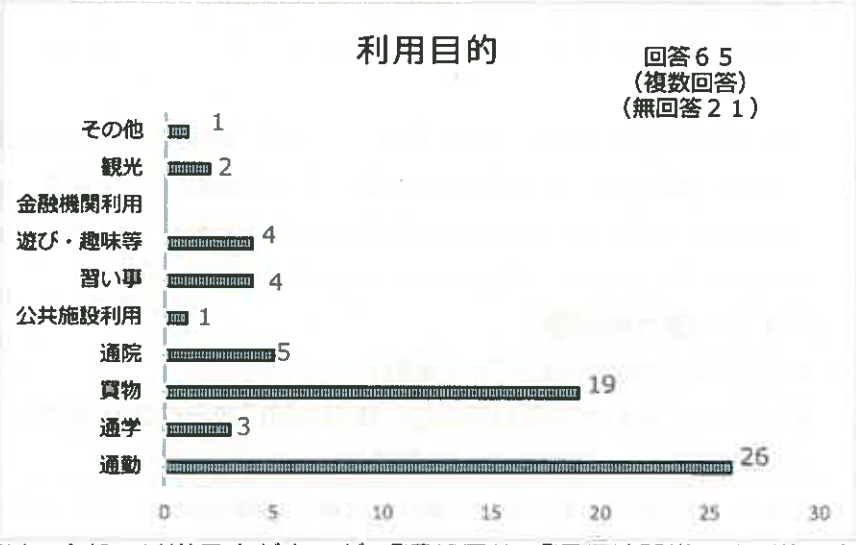




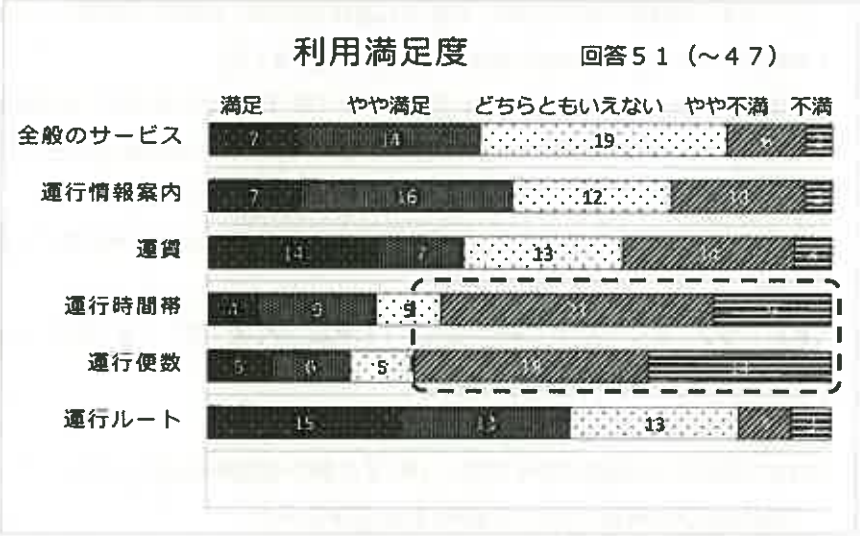
【利用目的・満足度・改善策等】

・利用目的は、「通勤」２６（約４０％）が最も多く、次いで「買物」１９（約２９％）。

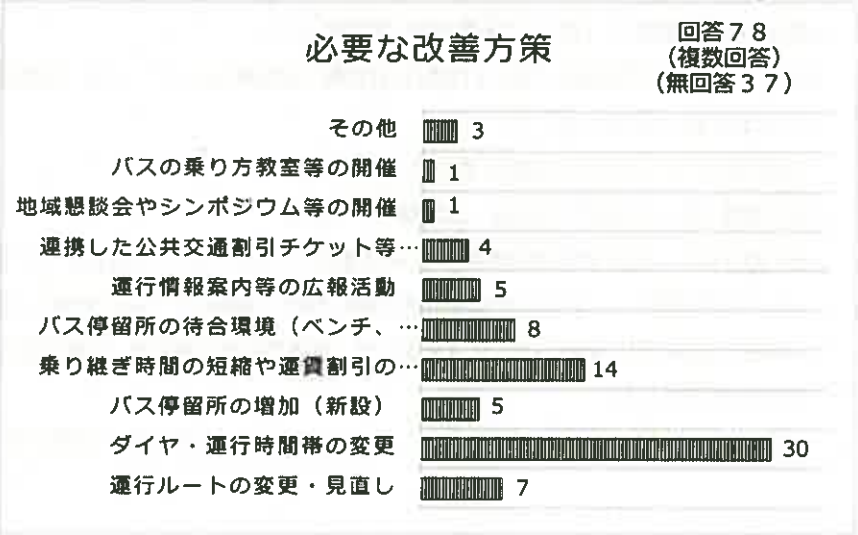
・利用頻度は、「ほぼ毎日」２３（約40%）、「週に２・３回」１６（約28%）。



・運行サービスに対する満足度は、全般では満足度が高いが、「運行便数」「運行時間帯」は、満足度が低く、記載意見も多い。



・必要な改善策では、「ダイヤ・運行時間帯」３０（約３９％）の指摘で、記述意見も多い。



岩線アンケート結果（平日８１人）

【問５改善に関する記載】

《運行ルート》

・片側まわりではなく、利用しやすいルートを望む。

・半島エリア（男/５０歳代/会社員・公務員/未・未）＋②：１９：００頃まで（男/５０歳代/会社員・公務員/未・未）

・岩線（女/５０歳代/会社員・公務員/熱海/-・-）＋②：夜に欲しい（女/５０歳代/会社員・公務員/熱海/-・-）

・山まわり-町まわり（女/６０歳代/未/岩中央・３）＋自由記入欄：たとえば、小田百から石名坂に帰るのに来たバスは山まわり。駅まで行ってまたのりかえる４００円かかります。（女/６０歳代/未/岩中央・３）＋⑦：「公共交通割引チケット等」に○囲い（女/６０歳代/未/岩中央・３）

《ダイヤ・運行時間帯》

・夕方から夜の運行がほしい。（多数）

・JR ダイヤにあわせた運行を望む。休日も平日並みの運行を望む。

・定期券がほしい。割引チケットがほしい。

・夜１９：３０以降を１本。（男/４０歳代/会社員・公務員/山ゆり・２５）＋自由記入欄：日中の町営住宅までバスが上がってくれるのはうれしい。運行本数の増加、運行時間の延長が希望。（男/４０歳代/会社員・公務員/山ゆり・２５）＋⑩：定期券があると便利。（男/４０歳代/会社員・公務員/山ゆり・２５）

・本数が少ない（男/４０歳代/会社員・公務員/岩中央・５）

・午後６・７時代の増便。JR に合わせたダイヤ（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・３）

・夜８時くらいまで運行してほしい。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・３）＋③：岩地区は以前の伊豆箱根バスの停留所に戻してほしい。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・３）

・19:00～20:00 代に１つ欲しい。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・２０）＋⑨末尾：交通安全含む。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・２０）

・最終もう少し遅く（男/６０歳代/会社員・公務員/岩中央・未）＋③：昔の（岩小）学校上と学校前に戻す（男/６０歳代/会社員・公務員/岩中央・未）

・１２時代がない（男/６０歳代/無職/岩中央・２）

・せめて平日も土日並みのダイヤで…（男/７０歳代/自営業/岩中央・１）

・７時代のバスの時間。（女/１０歳代/学生/岩中央・１）

・電車の時間に合わせてほしい。（女/１０歳代/学生/山ゆり・５）

・夜ともう少し朝早く（女/１０歳代/学生/岩中央・１）

・朝は７時代、夜７時以降。（女/３０歳代/会社員・公務員/未・１）＋⑩：定期券をつくるべきと思います。（女/３０歳代/会社員・公務員/未・１）

・山まわり（女/３０歳代/介護職/湯河原/-・-）

・朝の増便（女/４０歳代/会社員・公務員/未・５）

・駅に向かう１１時代１２時代希望（女/４０歳代/パート・バイト/岩中央・１）＋自由記入欄：路線バスの時１２時代のバスで通勤していたのにその時間帯が無くなり一本前の１１時代も無くなった。この暑さの中、歩いて行くか、１０時代の逆回りに乗るしかなく大変困った。時間があきすぎです。定期も導入してほしい。（女/４０歳代/パート・バイト/岩中央・１）

・休日の運行時間をもう少し長くして欲しい。（女/５０歳代/会社員・公務員/未・１）

・JR の時刻に合わせてほしい。（女/５０歳代/パート・バイト/岩中央・２０）
・8:35～9:55 の間にもう１本ほしいです（女/５０歳代/無職/山ゆり・未）
・午後6時を6：０５ぐらいにしてほしい。（女/６０歳代/会社員・公務員/未・未）
・日中の時間３時間０運転となってる。（女/７０歳代/無職/岩中央・０）＋自由記入欄：せめて少なくとも１時間に１本は運転してほしい。（女/７０歳代/無職/岩中央・０）
・希望の所で手をあげてのる。（女/８０歳以上/未/山ゆり・未）＋自由記入欄：バス停まで歩くのが大変。（女/８０歳以上/未/山ゆり・未）

《待合環境》

・ベンチに〇囲い（女/７０歳代/無職/山ゆり・未）

《その他》

・８時内が１本ほしい。（男/８０歳以上/無職/丸山・未）

《自由記入欄》（ここのみに記載）

・有りがたく思います。（女/７０歳代/無職/山ゆり・未）
・利用者の声を聞いた結果、いつ何が反映されているか。判らない。利用者を含めた広報(改善)を活発にして欲しい。（男/６０歳代/パート・バイト/岩中央・５）
・バスの便数が少ない（男/６０歳代/パート・バイト/岩中央・未）
・山まわりで、平日も８：２５頃のを●して欲しい。運行時間をもう少し増やして欲しい。（女/３０歳代/介護職/湯河原/-・-）
・急ブレーキがこわいです。（女/４０歳代/パート・バイト/岩中央・未）
・希望しても何も変わらない。利用者の立場を考えていない。通勤に利用しているのに定期が出ない。毎日２００円。（女/６０歳代/会社員・公務員/山ゆり・１０）
・運行便数が少ない。（女/７０歳代/未/岩中央・３）
・５０分に１本動かして下さい。（女/８０歳以上/無職/岩中央・１０）
・もっと台数をふやしてほしい。（女/８０歳以上/無職/未・未）

※末尾属性（性別/年齢/職業/居住地区・バス停までの徒歩所要時間）…未は未回答

真鶴線ＯＤ結果（平日）

（２）コミュニティバス真鶴線

①ＯＤ結果

【平日ＯＤ】（総数：１６６・不詳４含む）

- 最も多かったのは「真鶴駅乗車→中川美術館降車」で２７（①）、次いで「小田原百貨店乗車→真鶴駅降車」で２０（②）。
- 乗車バス停では、「真鶴駅」６５（③）、「小田原百貨店」２９（④）の利用が多く、「尻掛入口」２０（⑤）、「大浜口」１４（⑥）などとなっている。
- 降車バス停では、「真鶴駅」５９（⑦）、「中川美術館」２８（⑧）の利用が多く、「尻掛入口」１８（⑨）などとなっている。

コミュニティバス真鶴線OD・平日　合計

乗車人数	166													
	バス停		1真鶴駅	2真鶴郵便局前	3役場	4町民センター	5小田原百貨店	6消防分署前	7情報センター	8駅迦堂前	9尻掛入口	10ひなづる幼稚園	11お花畑	12大浜口	13中川美術館
			65		4	5	29	3	6		20	11	7	14	2
降車	1真鶴駅	59			2	1	20				16	3	6	10	1
	2真鶴郵便局前	2										2			
	3役場	3										2			1
	4町民センター	7	2									3	1	1	
	5小田原百貨店	11	8				1					1		1	
	6消防分署前	0													
	7情報センター	2									1			1	
	8駅迦堂前	0													
	9尻掛入口	18	7		1	1		1	6		2				
	10ひなづる幼稚園	12	10				2								
	11お花畑	9	4			2	3								
	12大浜口	15	7		1	1	3	2						1	
	13中川美術館	28	27								1				

乗車

■に数値があるものは、OD不詳（4）。

【土日ＯＤ】（総数：６５）

・最も多かったのは「真鶴駅乗車→中川美術館降車」で９（①）、次いで「大浜口乗車→真鶴駅降車」で８（②）。

・乗車バス停では、「真鶴駅」２２（③）、「大浜口」１２（④）の利用が多い。

・降車バス停では、「真鶴駅」２７（⑤）、「尻掛入口」１０（⑥）の利用が多い。

コミュニティバス真鶴線OD・土日　合計

乗車人数	65	乗車												
	バス停	1真鶴駅	2真鶴郵便局前	3役場	4町民センター	5小田原百貨店	6消防分署前	7情報センター	8駅前堂前	9尻掛入口	10ひなづる幼稚園	11お花畑	12大浜口	13中川美術館
		22			1	5	4	2	1	7	4	5	12	2
降車	1真鶴駅 27					1	2		1	6	3	5	8	1
	2真鶴郵便局前													
	3役場 3												3	
	4町民センター													
	5小田原百貨店 6	3								1	1		1	
	6消防分署前													
	7情報センター													
	8駅前堂前													
	9尻掛入口 10	7					1	1						1
	10ひなづる幼稚園 3					2		1						
	11お花畑 3	1			1	1								
	12大浜口 4	2				1	1							
	13中川美術館 9	9												

・「中川美術館」行の観光客用バスとしての利用が多い。

真鶴線アンケート結果（平日２７人）

②アンケート集計結果（利用者意向：平日２７人）

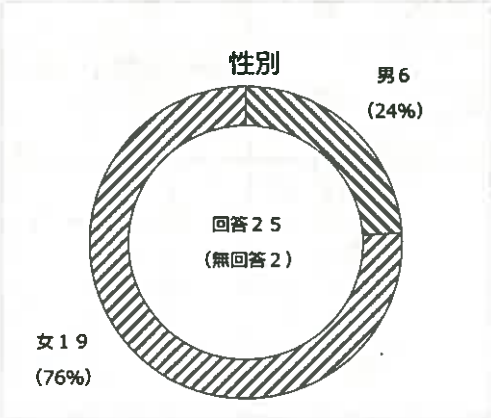
【利用者属性】

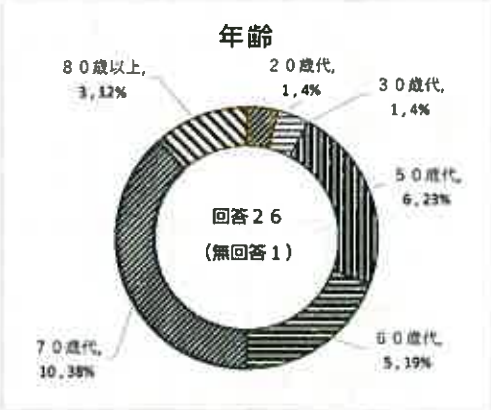
・性別では、男６（約２４％）、女１９（約７６％）で、女性が多かった。

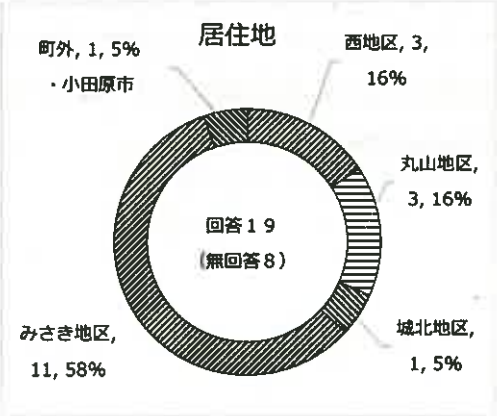
・年齢別では、７０歳代（約１０％）、５０歳代（約６[％）、６０歳代（約５％）と、高齢者が多かった。

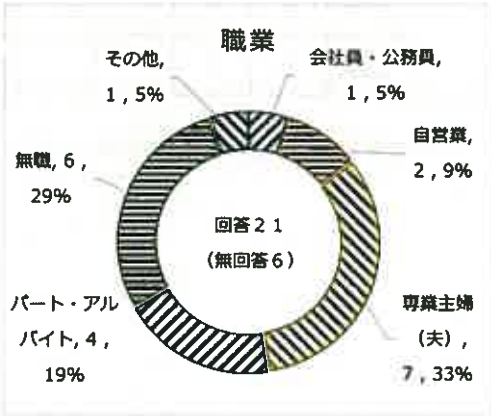
・職業別では、専業主婦（夫）７（約３３％）、無職６（約２９％）、パート・アルバイト４（約１９％）が多かった。

・居住地は、みさき地区１１（約５２％）、西地区３（約１６％）、丸山地区３（約１６％）が多かった。





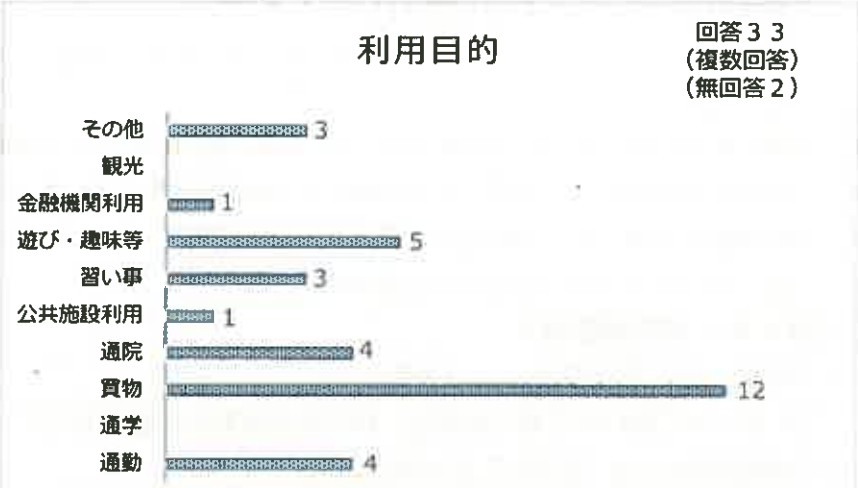




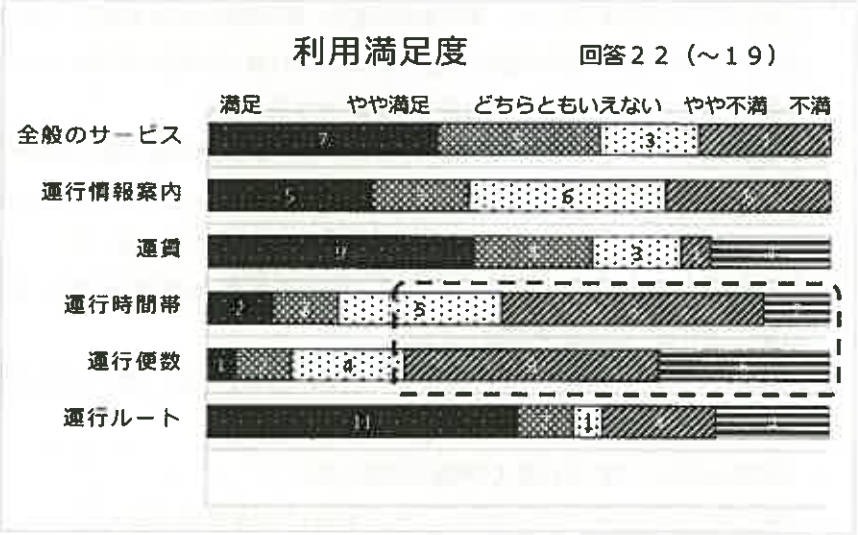
【利用目的・満足度・改善策等】

・利用目的は、「買物」１２（約３６％）が最も多く、次いで「遊び・趣味等」５（約１５％）。

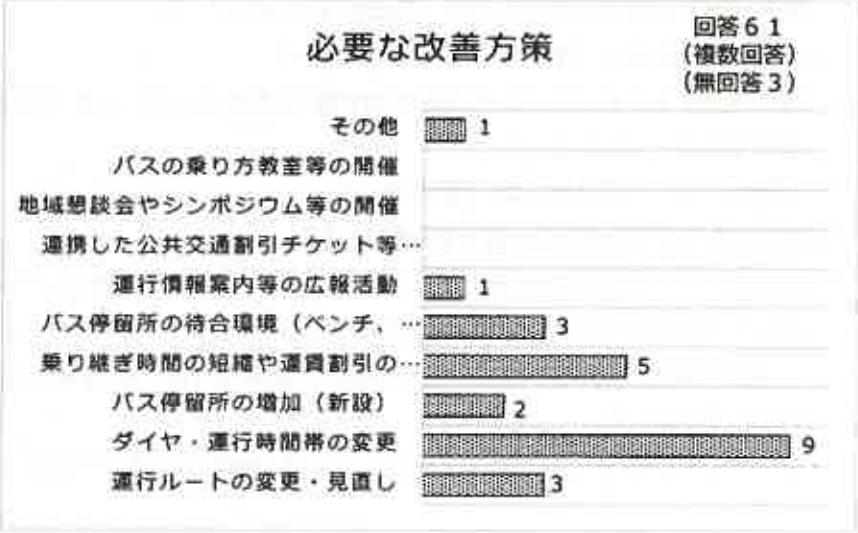
・利用頻度は、「週に２・３回」１２（約55%）、「月に３・４回」４（約18%）。



・運行サービスに対する満足度は、全般では満足度が高いが、「運行便数」「運行時間帯」は、満足度が低く、記載意見も多い。



・必要な改善策では、「ダイヤ・運行時間帯」９（約１５％）の指摘で、記述も多い。



真鶴線アンケート結果（平日２７人）

【問５改善に関する記載】

《運行ルート》

・片側まわりではなく、利用しやすいルートを望む。

・半島エリア（男/５０歳代/会社員・公務員/未・未）＋②：１９：００頃まで（男/５０歳代/会社員・公務員/未・未）

・岩線（女/５０歳代/会社員・公務員/熱海/-・-）＋②：夜に欲しい（女/５０歳代/会社員・公務員/熱海/-・-）

・山まわり-町まわり（女/６０歳代/未/岩中央・３）＋自由記入欄：たとえば、小田百から石名坂に帰るのに来たバスは山まわり。駅まで行ってまたのりかえる４００円かかります。（女/６０歳代/未/岩中央・３）＋⑦：「公共交通割引チケット等」に○囲い（女/６０歳代/未/岩中央・３）

《ダイヤ・運行時間帯》

・夕方から夜の運行がほしい。（多数）

・JR ダイヤにあわせた運行を望む。休日も平日並みの運行を望む。

・定期券がほしい。割引チケットがほしい。

・夜１９：３０以降を１本。（男/４０歳代/会社員・公務員/山ゆり・２５）＋自由記入欄：日中の町営住宅までバスが上がってくれるのはうれしい。運行本数の増加、運行時間の延長が希望。（男/４０歳代/会社員・公務員/山ゆり・２５）＋⑩：定期券があると便利。（男/４０歳代/会社員・公務員/山ゆり・２５）

・本数が少ない（男/４０歳代/会社員・公務員/岩中央・５）

・午後６・７時代の増便。JR に合わせたダイヤ（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・３）

・夜 8 時くらいまで運行してほしい。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・３）＋③：岩地区は以前の伊豆箱根バスの停留所に戻してほしい。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・３）

・19:00～20:00 代に１つ欲しい。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・２０）＋⑨末尾：交通安全含む。（男/５０歳代/会社員・公務員/岩中央・２０）

・最終もう少し遅く（男/６０歳代/会社員・公務員/岩中央・未）＋③：昔の（岩小）学校上と学校前に戻す（男/６０歳代/会社員・公務員/岩中央・未）

・１２時代がない（男/６０歳代/無職/岩中央・２）

・せめて平日も土日並みのダイヤで…（男/７０歳代/自営業/岩中央・１）

・７時代のバスの時間。（女/１０歳代/学生/岩中央・１）

・電車の時間に合わせてほしい。（女/１０歳代/学生/山ゆり・５）

・夜ともう少し朝早く（女/１０歳代/学生/岩中央・１）

・朝は７時代、夜７時以降。（女/３０歳代/会社員・公務員/未・１）＋⑩：定期券をつくるべきと思います。（女/３０歳代/会社員・公務員/未・１）

・山まわり（女/３０歳代/介護職/湯河原/-・-）

・朝の増便（女/４０歳代/会社員・公務員/未・５）

・駅に向かう１１時代１２時代希望（女/４０歳代/パート・バイト/岩中央・１）＋自由記入欄：路線バスの時１２時代のバスで通勤していたのにその時間帯が無くなり一本前の１１時代も無くなった。この暑さの中、歩いて行くか、１０時代の逆回りに乗るしかなく大変困った。時間があきすぎです。定期も導入してほしい。（女/４０歳代/パート・バイト/岩中央・１）

・休日の運行時間をもう少し長くして欲しい。（女/５０歳代/会社員・公務員/未・１）

・JR の時刻に合わせてほしい。（女/５０歳代/パート・バイト/岩中央・２０）
・8:35～9:55 の間にもう１本ほしいです（女/５０歳代/無職/山ゆり・未）
・午後6時を6：０5ぐらいにしてほしい。（女/６０歳代/会社員・公務員/未・未）
・日中の時間３時間０運転となってる。（女/７０歳代/無職/岩中央・０）＋自由記入欄：せめて少なくとも１時間に１本は運転してほしい。（女/７０歳代/無職/岩中央・０）
・希望の所で手をあげてのる。（女/８０歳以上/未/山ゆり・未）＋自由記入欄：バス停まで歩くのが大変。（女/８０歳以上/未/山ゆり・未）

《待合環境》

・ベンチに〇囲い（女/７０歳代/無職/山ゆり・未）

《その他》

・８時内が１本ほしい。（男/８０歳以上/無職/丸山・未）

《自由記入欄》（ここのみに記載）

・有りがたく思います。（女/７０歳代/無職/山ゆり・未）
・利用者の声を聞いた結果、いつ何が反映されているか。判らない。利用者を含めた広報(改善)を活発にして欲しい。（男/６０歳代/パート・バイト/岩中央・５）
・バスの便数が少ない（男/６０歳代/パート・バイト/岩中央・未）
・山まわりで、平日も８：２５頃のを●して欲しい。運行時間をもう少し増やして欲しい。（女/３０歳代/介護職/湯河原/-・-）
・急ブレーキがこわいです。（女/４０歳代/パート・バイト/岩中央・未）
・希望しても何も変わらない。利用者の立場を考えていない。通勤に利用しているのに定期が出ない。毎日２００円。（女/６０歳代/会社員・公務員/山ゆり・１０）
・運行便数が少ない。（女/７０歳代/未/岩中央・３）
・５０分に１本動かして下さい。（女/８０歳以上/無職/岩中央・１０）
・もっと台数をふやしてほしい。（女/８０歳以上/無職/未・未）

※末尾属性（性別/年齢/職業/居住地区・バス停までの徒歩所要時間）…未は未回答

真鶴線アンケート結果（土日５人）

③アンケート集計結果（利用者意向：土日５人）

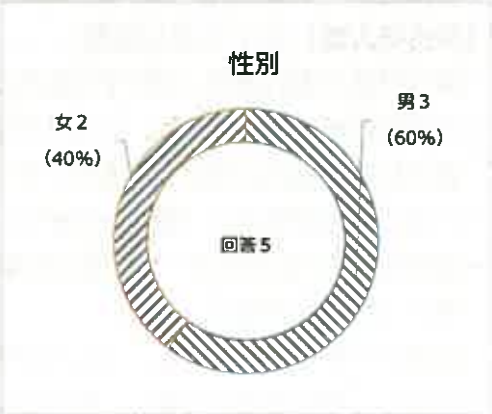
【利用者属性】

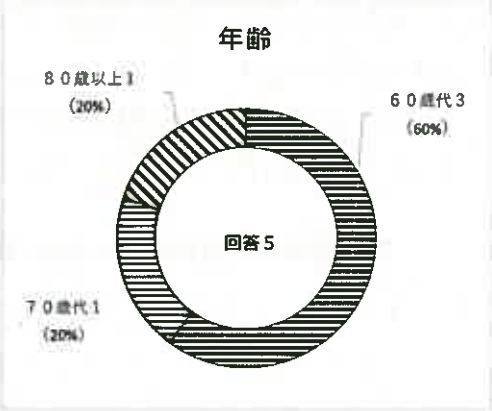
・性別では、男３（約６０％）、女２（約４０％）で、男性が多かった。

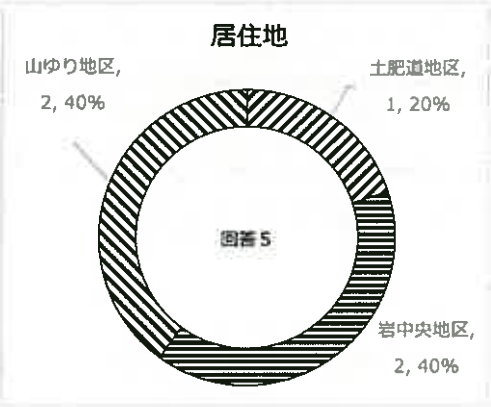
・年齢別では、６０歳代３（約６０％）、７０歳代１（約２０％）、８０歳代１（約２０％）と、全員高齢者であった。

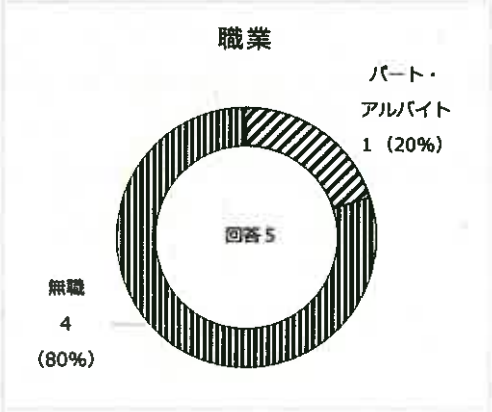
・職業別では、無職４（約３０％）、パート・アルバイト１（約２０％）であった。

・居住地は、岩中央地区２（約４０％）、山ゆり地区２（約４０％）が多かった。





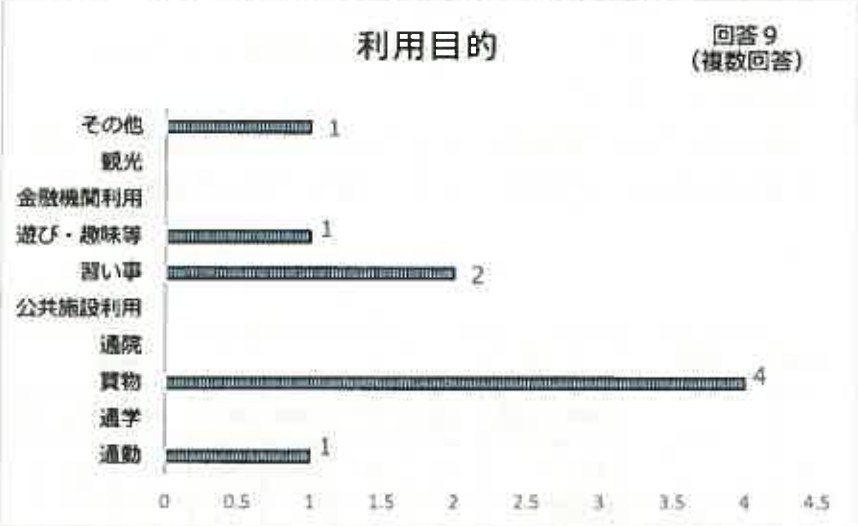




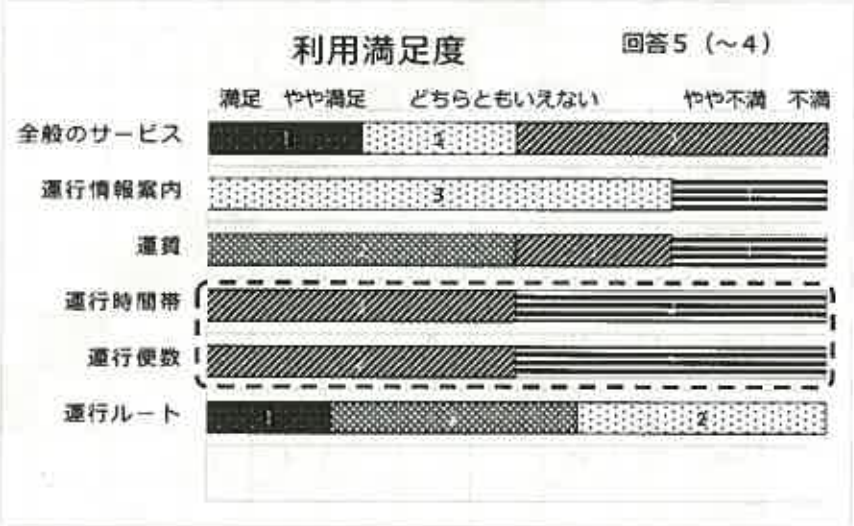
【利用目的・満足度・改善策等】

・利用目的は、「買物」４（約４４％）が最も多く、次いで「習い事」２（約２２％）。

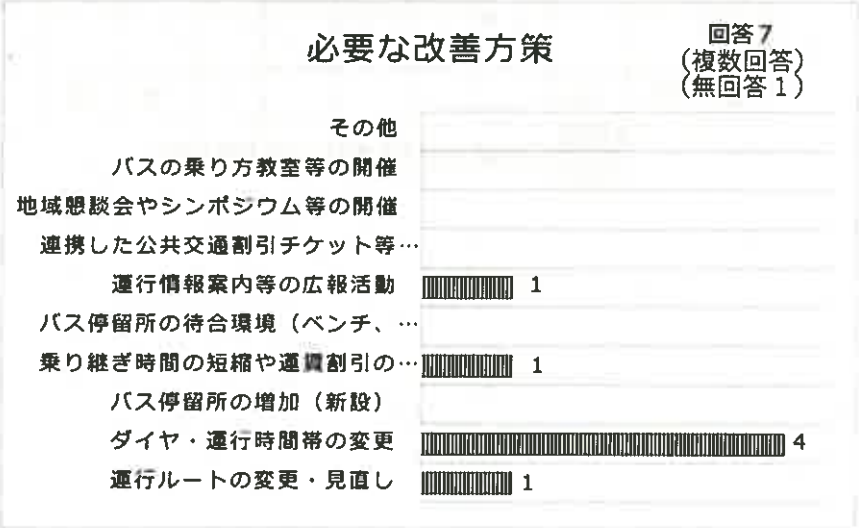
・利用頻度は、「週に２・３回」３（約60％）、「ほぼ毎日」・「月に２・３回」各１（約20％）。



・運行サービスに対する満足度は、全般ではやや不満が多く、「運行便数」「運行時間帯」は、やや不満と不満だけであった。



・必要な改善策では、「ダイヤ・運行時間帯」４（約５７％）の指摘あった。



路線バスＯＤ結果（平日）

（３）路線バスケープ真鶴線

①ＯＤ結果

【平日ＯＤ】（総数：512・不詳２２含む）

- 最も多かったのは「ケープ真鶴乗車→真鶴駅降車」で６３（①）、次いで「真鶴駅乗車→ケープ真鶴降車」で５９（②）。
- 乗車バス停では、「真鶴駅」１３７（③）、「ケープ真鶴」１０９（④）の利用が多い。
- 降車バス停では、「真鶴駅」２５１（⑤）、「ケープ真鶴」９５（⑥）の利用が多い。

路線バスケープ真鶴線OD・平日　合計

乗車人数	512		乗車													
	バス停		1真鶴駅	2大道商店街	3消防分署前	4小学校下	5東福寺	6西の浜	7魚市場	8宮前	9山下浜	10豊地	11岬入口	12中川美術館	13岬入口	14ケープ真鶴
			137		9	21	38	31	51	39	8	50		19		109
降車	1真鶴駅	251	3		4	18	30	25	35	21	7	28		17		63
	2大道商店街	6					1	2	2							1
	3消防分署前	18				1	1	2	2	4	1	1				6
	4小学校下	7	6			1										
	5東福寺	12	9				2					1				
	6西の浜	19	7									9				3
	7魚市場	33	6		3				3			3				18
	8宮前	17	11		2							2				2
	9山下浜	1	1													
	10豊地	28	19				4	1								4
	11岬入口	3							3							
	12中川美術館	22	16			1				1		1		2		1
	13岬入口															
	14ケープ真鶴	95	59					1	6	13		5				11

■に数値があるものは、OD不詳(22)。

【土日ＯＤ】（総数：５３２）

- 最も多かったのは「ケープ真鶴乗車→真鶴駅降車」で６７（①）、次いで「真鶴駅乗車→ケープ真鶴降車」で５８（②）。
- 乗車バス停では、「真鶴駅」１５７（③）、「ケープ真鶴」１２３（④）の利用が多い。
- 降車バス停では、「真鶴駅」２４７（⑤）、「ケープ真鶴」１００（⑥）の利用が多い。
- 「ケープ真鶴」（乗降）や「魚市場」（乗降）の観光利用者が多く、海岸付近での乗車→真鶴駅降車の町民利用もある。

路線バスケープ真鶴線OD・土日　合計

乗車人数	532	乗車（ケープ真鶴→真鶴駅）													
バス停		1真鶴駅	2大道商店街	3消防分署前	4小学校下	5東宿中	6西の浜	7魚市場	8宮前	9山下浜	10重地	11岬入口	12中川美術館	13岬入口	14ケープ真鶴
		157	2	3	3	28	22	79	21	3	56		35		123
降車 1真鶴駅	247			1	3	21	20	36	16	2	47		34		67
降車 2大道商店街	4										4				
降車 3消防分署前	10	2					1		1	1	1		1		3
降車 4小学校下	4	3						1							
降車 5東宿中	3	2	1												
降車 6西の浜	6	2	1			1					1				1
降車 7魚市場	50	40		1							3				6
降車 8宮前	40	4													36
降車 9山下浜	4	4													0
降車 10重地	47	31				5	1								10
降車 11岬入口	1	1													
降車 12中川美術館	16	10		1				3	2						
降車 13岬入口	0														
降車 14ケープ真鶴	100	58				1		39	2						

路線バスアンケート結果（平日４５人）

②アンケート集計結果（利用者意向：平日４５人）

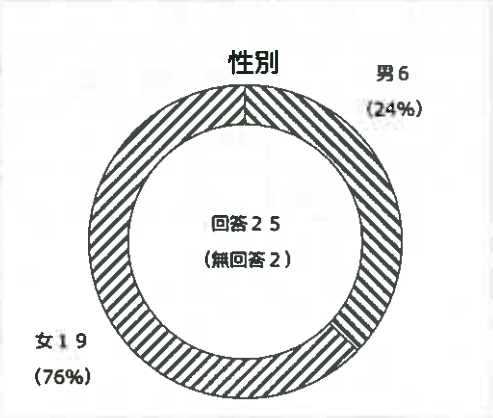
【利用者属性】

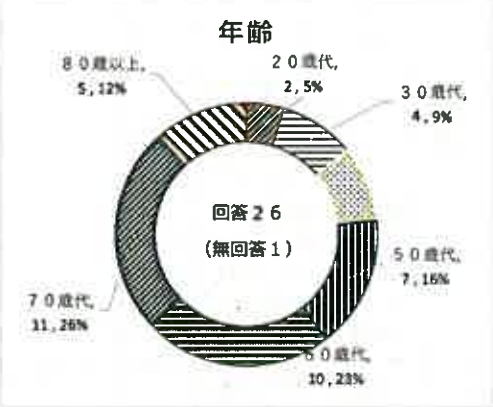
・性別では、男６（約２４％）、女１９（約７６％）で、女性が多かった。

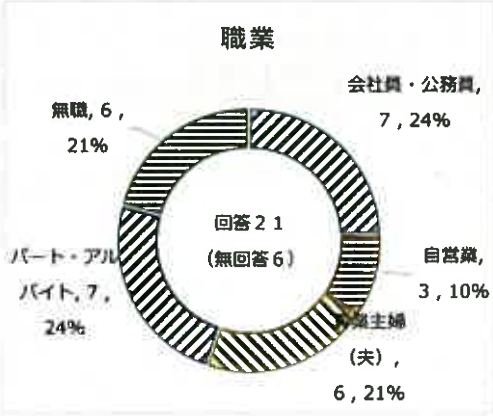
・年齢別では、７０歳代１１（約２６％）、６０歳代１０（約２３％）、５０歳代７（約１６％）と、高齢者が多かった。

・職業別では、会社員・公務員７（約２４％）、パート・アルバイト７（約２４％）が多かった。

・居住地は、町外７（約２７％）が最も多く、次いで東地区５（約１９％）、西地区５（約１９％）が多かった。





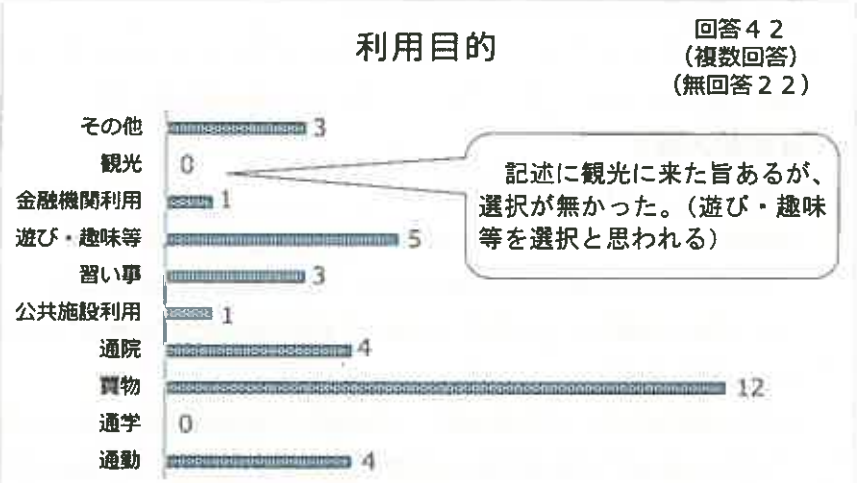


路線バスアンケート結果（平日４５人）

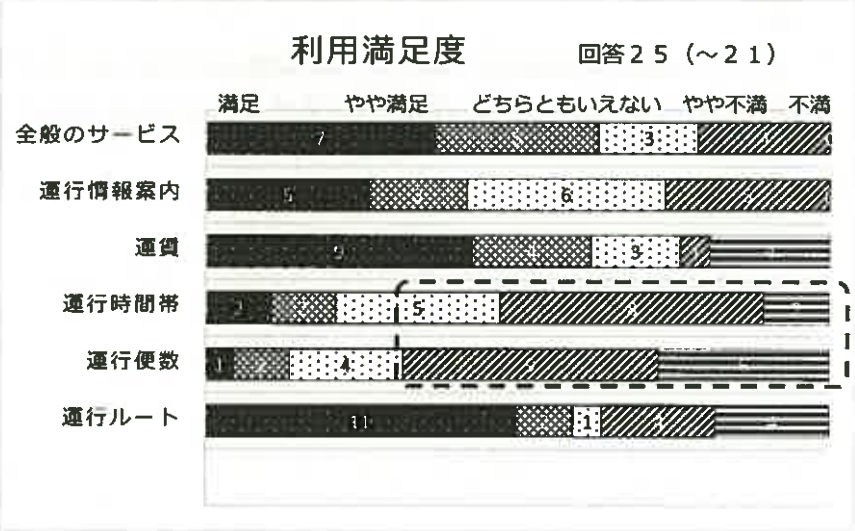
【利用目的・満足度・改善策等】

・利用目的は、「買物」１２（約２９％）が最も多く、次いで「遊び・趣味等」５（約１２％）。

・利用頻度は、「週に２・３回」１０（約31％）、「ほぼ毎日」８（約25％）。



・運行サービスに対する満足度は、全般では満足度が高いが、「運行便数」「運行時間帯」は、満足度が低く、記載意見も多い。



・必要な改善策では、「ダイヤ・運行時間帯」９（約２８％）の指摘で、記述も多い。

路線バスアンケート結果（平日４５人）

【改善に関する記載】

《その他》

・ケープ真鶴線の観光利用の利便性向上。

・１日フリー券+自由記入欄：ケープ真鶴に観光にきたが、刺身定食など無く、途中の魚市場にはあるとのことでした。途中下車可もしくは１日フリー券にしてもらえると観光客は便利です。（男/４０歳代/会社員・公務員/川崎市）

《自由記入欄》

・観光バスとしてのサービス向上。

・ゆがわらエリアバスフリーパスがほしい（女/４０歳代/無職/川崎）

・バス停の待合所の座席がびしょぬれでした。ケープ真鶴（未/未/未/未）

・運転手さんの接客マナーについてもう少し丁寧さが必要だと思います。少々きつく感じました。（男/３０歳代/会社員・公務員/東京都）

・わたしの住まいはココではないので、こちらのバスを利用することはありませんが、普段の生活で毎日バスを使っていて、今日のバスは乗り易かったですが、運転がらんぼうで、５０歳代のわたしでも立っているのがしんどいことがあるので、どこの会社（バス）でも運転講習技術高上には力をいれてほしい。（女/５０歳代/パート・バイト/横浜市）

・アンケート目的がよく理解できてないので、また乗車したのもはじめてなので、回答が正しいかわからない。何に利用するアンケートなのかを明記して欲しい。（男/５０歳代/会社員・公務員/座間）

路線バスアンケート結果（土日９人）

③アンケート集計結果（利用者意向：土日９人）

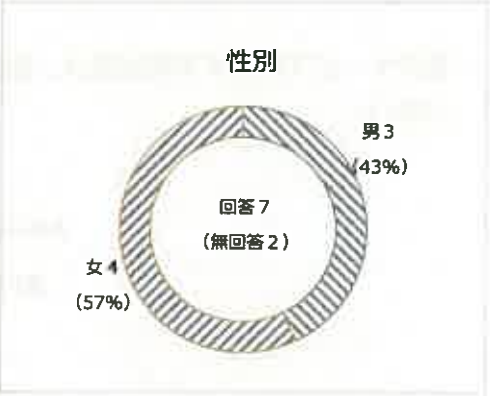
【利用者属性】

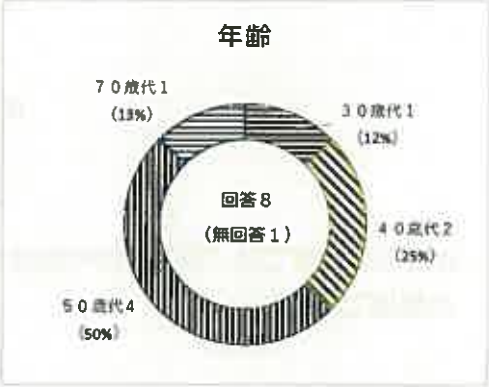
・性別では、男３（約４３％）、女４（約５７％）で、女性が多かった。

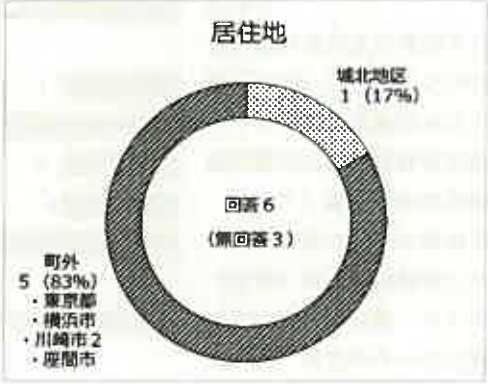
・年齢別では、５０歳代４（約２１％）、４０歳代２（約２０％）と、中高年者が多かった。

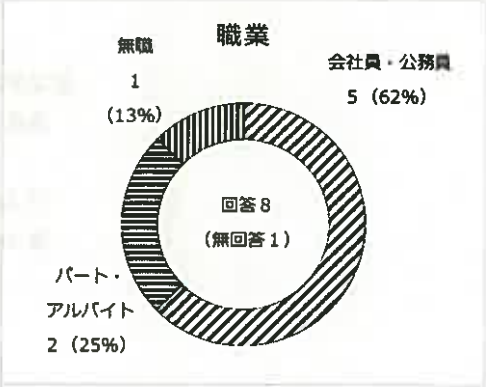
・職業別では、会社員・公務員５（約６２％）、パート・アルバイト２（約２５％）が多かった。

・居住地は、町外５（約８３％）が、最も多かった。







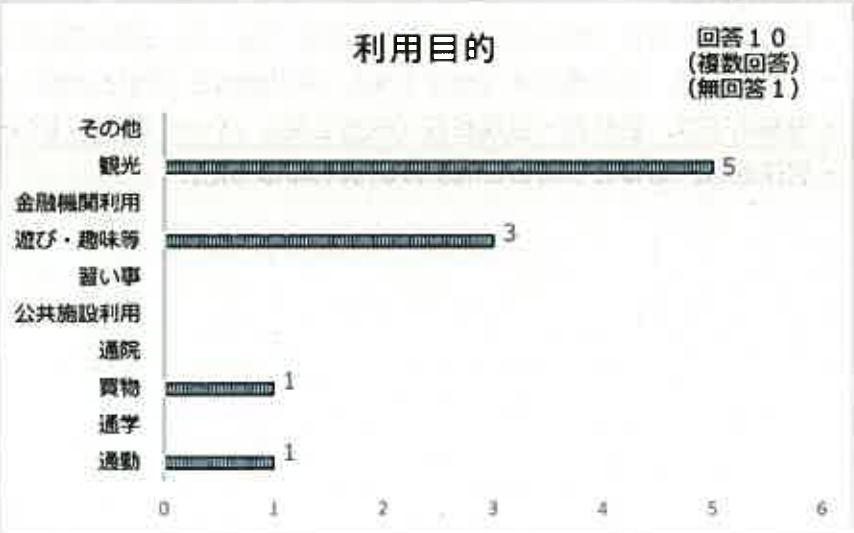


路線バスアンケート結果（土日９人）

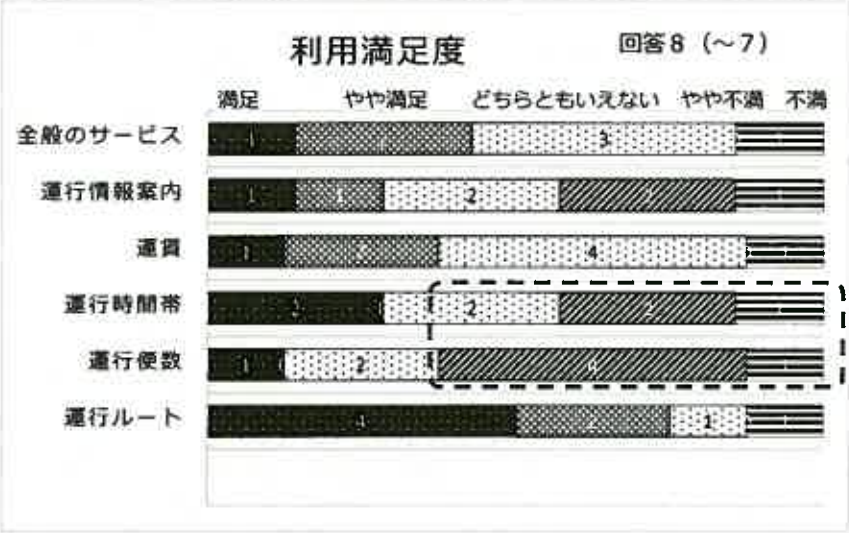
【利用目的・満足度・改善策等】

・利用目的は、「観光」５（約５０％）が最も多く、次いで「遊び・趣味等」３（約３０％）。

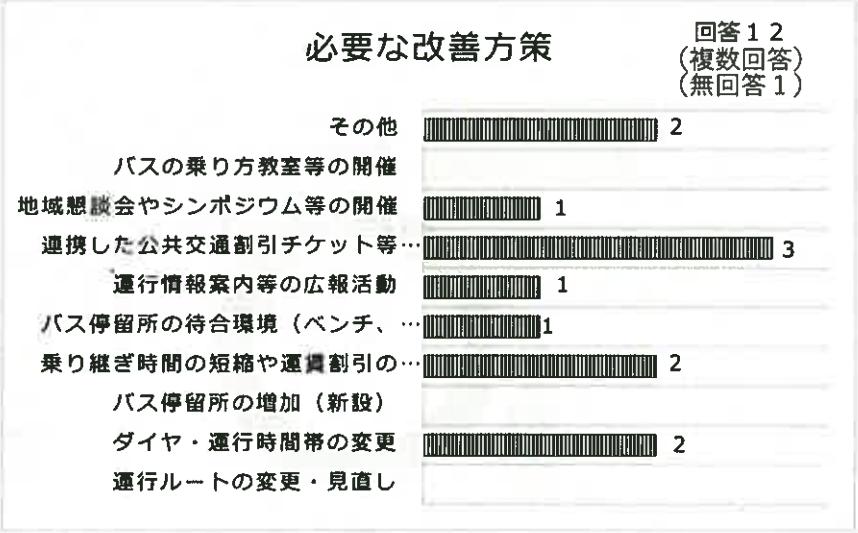
・利用頻度は、「その他」６（約 75％）、「ほぼ毎日」・「月に１回程度」各１（約 13％）。



・運行サービスに対する満足度は、全般では満足度が高いが、「運行便数」「運行時間帯」は、満足度が低い。



・必要な改善策では、「観光施設や商店会等と連携した公共交通割引チケット等の発行」３（約２５％）の指摘であった。



＜実態調査結果・総括＞

1 OD調査結果

① コミュニティバス岩線は、「通勤・通学・買物」など、日常の足として利用されている。

＜朝の真鶴駅降車が多い＞

・通勤・通学の足として、朝、各地で乗車し、真鶴駅で降車する利用者が多い。

＜日中、小田原百貨店乗降がある＞

・日中、小田原百貨店乗車客が、各地で下車しており、買物バスとして利用されている。

② コミュニティバス真鶴線・路線バスケープ真鶴線は、「中川美術館行」や「ケープ真鶴行・港や市場行」の観光利用が多いが、地域と駅や町中を結ぶ役割がある。

・真鶴駅乗車客の多くは、中川美術館・ケープ真鶴・港や市場・海岸降車の観光客である。

・途中バス停乗車、真鶴駅降車の町民利用もある。

2 意向調査結果

① ３路線ともに、「通勤・通学・買物」など、日常の足として利便性の向上が望まれる。

＜運行便数の増便＞

・時間当たりの便数増は難しい状況であるが、夕方の運行延長（特に、通勤・通学利用者の帰路の足として）が望まれている。（実態調査時の目視では、夕方のお迎え車両により、駅前の混雑・混乱が見られた。）

＜定期券など割引運賃＞

・満足度で、運賃に不満を持つ方は、短距離でも一律運賃で定期券が無いことを指摘している。ＩＣカード割引運賃の導入など工夫が望まれる。

＜路線案内＞

・真鶴駅前において、バス路線の案内図など分かりやすいサイン整備が望まれる。（岩線の午前・夕方の「岩折返し便」は、時刻表にも明記が望まれる（運転手談））

② コミュニティバス真鶴線・路線バスケープ真鶴線は、観光利用の際の利便性の向上が望まれる。

＜利用案内情報・サイン整備など＞

・中川美術館やケープ真鶴、港や市場・海岸など、本町の魅力施設への重要な交通手段であり、観光周遊ルートの設定や提案・案内など情報発信が望まれる。

・周遊ルートを割安で周れる割引チケット（１日乗り放題など）の発行が望まれる。

・真鶴駅前における目的地別のバス停の位置を示すサイン整備が望まれる。

公共交通割引券を助成

きょうから高齢者免許返納支援で

真鶴町（宇賀一章町長）は、高齢者による交通事故が社会問題化していることを受けて、事故防止と一層の公共交通利用促進に資することを目的に、「高齢者運転免許証自主返納支援事業の実証実験」を今日1日から開始する。

同事業実施にあたり、町と小田原警察署が緊密に連携して事業推進を図ろうと30日に協定を締結。宇賀町長と川瀬伸二小田原警察署長が情報の共有・提供等の事項を盛り込んだ協定文書を交わしている。

この際、川瀬署長は、「高齢運転者が自身の身体能力の低下を自覚したうえで、事故を起こさないためにも効果のあることではないか」と期待を述べ、宇賀町長も、現役のお年寄りが多く、また、運転免許を持つことが一種の社会的ステータスであることに理解を示しつつも、「人の命を守るのが最優先」と事業実施にかける思いを語った。

平成30年4月1日以降に運転免許証返納を行った満65歳以上の町民を対象に、JR真鶴駅―ケープ真鶴線の路線バス・真鶴町コミュニティバス、真鶴タクシー、湯河原タクシーの割引チケット200円×100枚（2万円分）を助成する公共交通割引制度の実証実験。割引チケットの使用期間は11月1日から翌3月31日までとしている。

小田原署によると県内では、綾瀬市でコミュニティバス乗継無料券の配布の例があるが、路線バス・タクシーを含んだ取り組みは類例が見られないという。

同事業実施には、過疎関連の交付金の一部が充てられている。

対象となる町内の人数は1481名いる。

同事業に対する詳細等問い合わせは町役場まちづくり課☎68・1131内線345へ。

割引券を示す宇賀一章町長と川瀬伸二小田原警察署長

ゼ芸

「O

～家族で美術にふれてみませんか～」を実施した。

これは、祭「民踊舞踊発表会～鶴の会・レクリエーション部・保存会」がきょう1日12時半から町民センター3階講堂で行われる。テーマ「みんの民踊の数々」のもと、第1部「民踊 北から南から」、第2部「花の舞姿」で艶やかな着物姿の婦人達が華麗で味わい深い舞いを披露する。

今年は文化祭出演30回目となる節目の年であり、「鶴の会」「レクリエーション部」「保存会」の3グループ合同による大々的な発表会にしようと、代表の森操さんは考えている。

「30周年記念の年となりして開催しますのでお楽しみください。会場壁面には30年の思い出のアルバムを掲示しま

くださいお楽しみお待ちし来場を呼び